

Horasis アジアミーティングの本市開催について

本市は、11月20日から22日にかけて、日本初開催となる Horasis アジアミーティングを実施した。

国内外からの会議参加者に対し、本市が誇る環境関係技術等の情報発信を行うとともに、北九州らしさあふれるおもてなしで歓迎した。

今回の会議開催を契機に、参加した企業経営者や投資家等とのネットワークを深め、将来的に市内企業等のビジネス機会の創出に取り組んでまいりたい。

Horasis は、スイスのチューリッヒに本拠を置く世界的なシンクタンク。ギリシャ語で「to see, as in a vision (未来像を抱く)」という意味。会議を通じて持続的な未来ビジョンの設定を目指している。

1 会議概要

(1) 日 程：令和4年11月20日（日）～22日（火）

- ・ 11月20日（日）
 歓迎レセプション
 全体会2回、分科会4コマ
- ・ 11月21日（月）
 開会式
 全体会3回、分科会16コマ、
 スペシャルメッセージ（閉会式）
- ・ 11月22日（火）
 エクスカーション

(2) 場 所：北九州国際会議場ほか

(3) 主 催：Horasis、北九州市（共同主催）ほか

(4) 参 加 者：Horasis 及び本市からの招待者
23か国・地域から201名



【全体会】



【開会式】



【西村環境大臣からのメッセージ】



【スペシャルメッセージ】

※スペシャルメッセージ要旨

Horasis・リヒター会長

- ・公害を克服した経験からアジアを代表するグリーンシティとなった北九州市は、気候変動問題解決のための目標とすべき都市である。
- ・気候変動問題の解決には、1.5℃目標を見据えたうえでのエネルギー分野の脱炭素化が極めて重要である。
- ・再生エネルギー分野の拡大も世界規模で課題となっており、その為には国際協力が重要なカギとなっている。
- ・今回、気候変動問題解決のために、北九州市で活発な議論が行われたことは大変喜ばしい。

北九州市・北橋市長

- ・北九州市で、Horasis アジアミーティングを通じて、世界的な課題を克服し、未来のアジアの発展にどう繋げていくか、真摯に議論がされたことは大変に意義深い。
- ・アジア低炭素化センターを、より機能を強め、活動を活発にするという決意のもと、「アジアカーボンニュートラルセンター」にリニューアルする。
- ・環境ビジネスを進めるため、民間資金の確保についても積極的に取り組んでまいりたい。

2 環境国際ビジネス展開支援

(1) 市内企業・団体等 PR ゾーンの設置 (9 団体)

市内企業を幅広く P Rするとともに企業の海外展開を支援する本市と協力関係にある関係機関のブースを設置した。

区分	企業・団体名
企業 団体	北九州環境ビジネス推進会 (KICS)
	北九州市海外水ビジネス推進協議会 (KOWBA)
個別 企業	シャボン玉石けん(株)
	(株)ワンワールドジャパン
	(株)アステック入江
官公庁	環境省
	福岡県
	北九州市 (環境ビジネスネットワーキングブース、観光課)
その他	海のお掃除プラント&ロボット夢コンテスト 2022 実行委員会

(2) 環境ビジネスネットワーキングブースの設置

50名以上の参加者から、関心のある環境分野、投資計画及び市内企業とのネットワーク構築の意向等の情報を得た。



【PR ゾーン】



【環境ビジネスネットワーキングブース】



【企業ブース (アステック入江)】

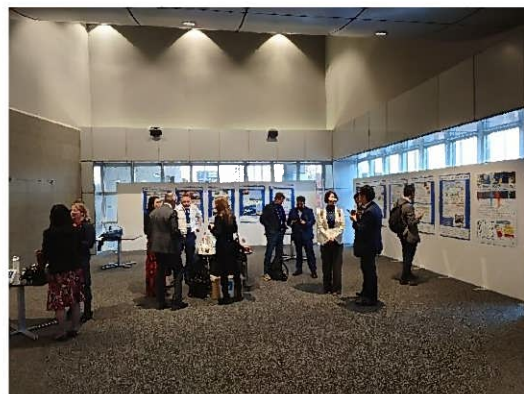


【企業ブース (シャボン玉石けん)】

(3) 会場内 PR パネルの設置



【PR パネル（観光）】



【PR パネル（環境）】

(4) 北九州セッションの実施

○テーマ

グリーン社会に向けた ESG 投資の拡大

○概要

本市での開催を記念し、北九州の投資案件発掘に関する優位性、アジア市場での ESG 投資促進策、環境と経済の好循環によるアジアの持続可能な社会への転換に向けた環境整備等について議論した。

○登壇者一覧

レオン・トー／ダムソン キャピタル創設者 ※モデレーター

アルベルト・ファーガー／アマラホールディングス創設者兼 CEO

高槻 大輔／CVC キャピタルパートナーズ アジア代表

ファビアン・タン／シンガポール企業庁グループ・ディレクター

林 志浩／（公財）地球環境戦略研究機関（IGES）

北九州アーバンセンター副センター長

森 尚樹／（公財）地球環境戦略研究機関（IGES）

プログラムディレクター

岡田 秀樹／(株)海外交通・都市開発事業支援機構（JOIN）執行役員

鈴木 香織／Codo advisory(株) 代表取締役社長・CEO



【北九州セッション】



【登壇者】

3 併催事業の実施

(1) 海のお掃除プラント&ロボット夢コンテスト

○応募作品 計139作品

うちジュニア部門	119作品
学生・一般部門	20作品

○入賞作品 計9作品

うちジュニア部門	5作品
学生・一般部門	4作品

○奨励賞作品 計5作品

うちジュニア部門	5作品
----------	-----

○感謝状授与 北九州市立萩ヶ丘小学校 (門司区)
北九州市立曾根東小学校 (小倉南区)



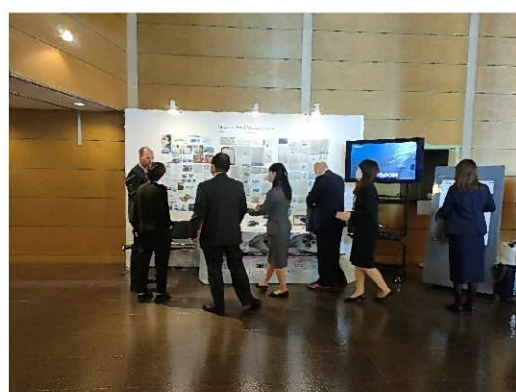
【コンテストの様子】



【表彰式】



【海ロボ PR ブース】



【海ロボ PR ブース】

(2) 若者世代による情報発信

本市の脱炭素社会や SDGs など環境課題に関心を持つ市内の大学生が、令和4年6月から約5カ月間かけて、市内団体や学校、関係先などを自ら取材するなど情報収集や討議を行い、その内容や学生の意見について動画にまとめ、Horasisアジアミーティングの会場で放映した。

○参加学生 北九州市立大学学生 5名

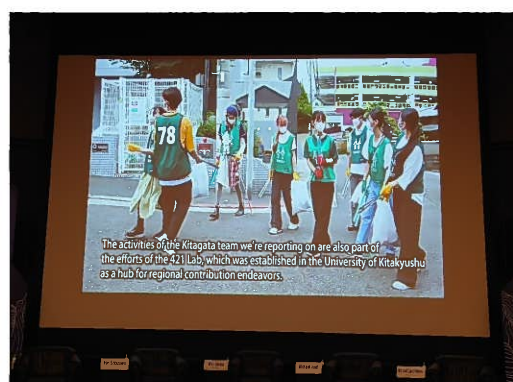
○発信内容 ①脱炭素社会
②食品ロス
③まち美化・海岸清掃

○取材内容

- ① カーボンニュートラルキャンパスへの取組
(国立大学法人九州工業大学)
- ② 野菜消費促進プロジェクト
(公立大学法人北九州市立大学)
- ③ 地域クリーンアッププロジェクト
(NPO 法人グリーンバード北九州チーム)
- ④ 曽根干潟クリーン作戦 (北九州市立曽根東小学校)



【若者世代による情報発信動画】



【情報発信動画】

4 参加者へのおもてなし

(1) 伝統文化によるおもてなし

伝統芸能の披露（折尾神楽）及び参加者への呈茶により参加者へのおもてなしを行った。



【折尾神楽の披露】



【呈茶】

(2) 国際儀礼による招宴の開催

本市関係者と Horasis 参加者のネットワーキングの場として招宴を開催した。



【鷹木議長による挨拶】



【会場風景】



【鏡割り】



【琴の演奏】

(3) エクスカーションの実施

小倉城や小倉城庭園、環境ミュージアム、市内企業を視察した。



【小倉城視察】



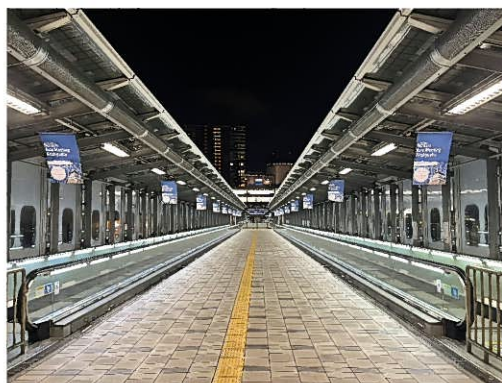
【シャボン玉石けん視察】

(4) 市内歓迎装飾

小倉駅に看板を設置するとともに、駅から会場までのペデストリアンデッキにバナー掲示を行い、参加者に向けての歓迎機運をアピールした。



【小倉駅新幹線口】



【ペデストリアンデッキ】